小学6年生　算数　速さ・距離・時間　第1弾 速さ　×　時間　＝　距離（道のり）01

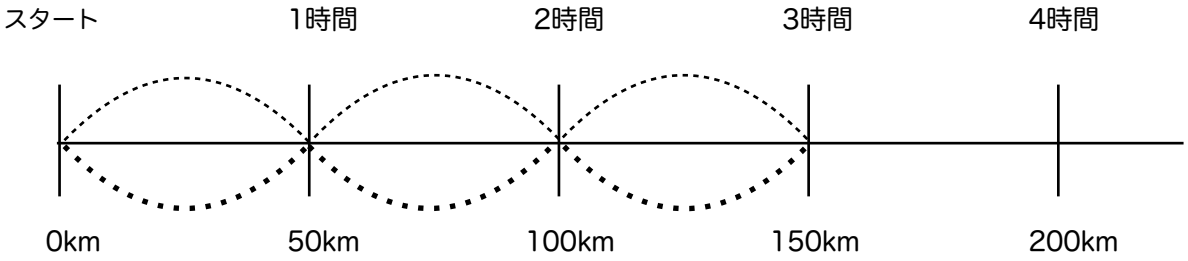
小学6年生の中盤から後半にかけての算数で最もつまづく人が多いのがこの分野です。
理解できないままに、ハジキなどという言葉のみで計算していると、その時は出来ても応用問題ができなかったり、時が経つとわからなくなる場合も多いと思います。
このページでは基本の図解で時速の問題を理解できるようにやってみましょう。

第1弾！まずは　速さ　×　時間　＝　距離（道のり）　を覚える！

実は大事なことは、この式をしっかり理解することです。これができればこの分野の基本はほとんどクリアしたようなものです。例題でやりながら確認していきましょう。

例題 A　：　時速50kmで走る車は、3時間で何km走りますか？

確認　：　時速とは1時間にどのくらいの距離を進む速さか　ということですから、
時速50kmで走る車は、1時間に50km進む速さということです。



このように図にしてみると、一目瞭然（いちもくりょうぜん）ですね。
時速50kmで　1時間走ると　50km
2時間で　100km
3時間で　150km　となりますね。つまり

速さ　×　時間　＝　距離（道のり）　となるのです。

時速50km　×　3時間　＝ 150km となります。

式　50×3=150　　答　150km

例題B　：　時速80kmで走る電車が、4時間で走る距離（道のり）を求めなさい。

式

答え

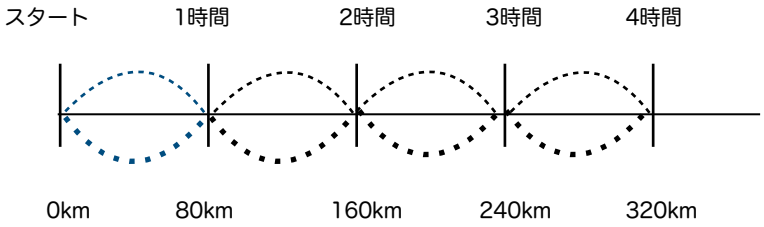
（例題Bの解答と解説は次のページにあります。）

小学6年生　算数　速さ・距離・時間　第1弾 速さ　×　時間　＝　距離（道のり）02

例題 Bの解答と解説　：　時速80kmで走る電車が、4時間で走る距離（道のり）を求めなさい。

式　　80×4=320

答え　320km



ココがポイント！　1時間で80km進むというのを図のようにイメージできるようにしよう。
まだいまいち理解できない人は、前のページの図と比べて見てください。
1時間で進む距離（道のり）の違いに気が付くと思います。

例題 C：　時速60kmで走る電車が、1時間20分で進む距離（道のり）を求めなさい。

速さ　×　時間　＝　距離（道のり）ですから、
60　×1時間20分　＝　距離　ですが・・・

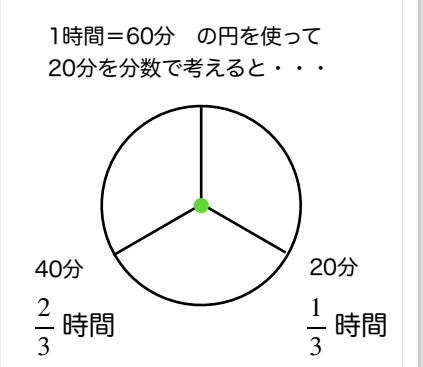
さきほどまでは、時間が整数だったので、3や4をそのままかければ良かったのですが、
1時間20分だとどうしたらいいのでしょうか？

こんな時に便利なのが**分数**です。分数を使って時間を表します。

20分を分数で表すと・・・$\frac{1}{3}$ 時間ですね！

右の図のように円にして表すとわかりやすいと思います。

60分＝1時間ですから、20分は　$\frac{1}{3}$ 時間、40分なら　$\frac{2}{3}$ 時間です。



1時間20分は、1時間が　$\frac{3}{3}$ 時間　で　20分は　$\frac{1}{3}$ 時間　ですから、

$\frac{4}{3}$ 時間　ですね！　これで計算しやくなりす。

式　　$60\times\frac{4}{3}=80$

答え　80km

小学6年生　算数　速さ・距離・時間　第1弾 速さ　×　時間　＝　距離（道のり）03

これまでの例題と解説でやったことを次の例題をやって確認してみましょう。

（解答と解説はこのページの下の方にあります。）

例題 D：　時速20kmで走る自転車が、6時間で進む距離（道のり）を求めなさい。

式

答え

例題 E：　時速80kmで走る電車が、1時間45分で進む距離（道のり）を求めなさい。

式

答え

解答と解説

例題 D：　時速20kmで走る自転車が、6時間で進む距離（道のり）を求めなさい。

式　$20\times6=120$

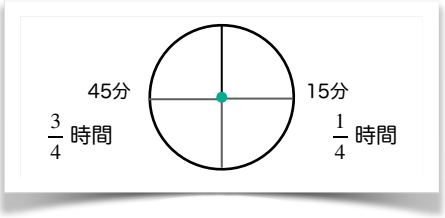
答え

この問題をすぐに解けない方は、もう一度1ページ目に戻って学習しましょう。

120km

例題 E：　時速80kmで走る電車が、1時間45分で進む距離（道のり）を求めなさい。

式　$80\times\frac{7}{4}=140$



ポイントは、1時間45分を分数で表すことです。

例題Cと同じく円の図にしてみるとわかりやすくなります。

45分は $\frac{3}{4}$時間ですから、1時間45分は $\frac{7}{4}$時間となります。

答え

140km